

自主選択制保育の広がり

新しい「夏祭りごっこ」に挑戦！

園で取り組んでいる自主選択制保育の一環です。これまでの夏祭りは、保育者が出し物や景品を準備し、当日の運営も行っていました。

今回は、子どもの発想を取り入れた内容や園児自身による運営に変えました。子どもによる出店や手づくりの景品など。

初めての試みでしたが、係や担任等が知恵を出し合い、子どもが主体性を発揮できるような支援や環境を整えました。その特徴的なものは、

「異年齢集団による活動」です！

ほし・そら組、うみ・そら組による合同の製作活動。祭りで使う景品（おもちゃ・かき氷・アイスクリームなど）等を教え合い、助け合いながら作る姿が見られました。このような異年齢活動は、今後も取り入れていきますが、次のようなよさがあります。

その1 年長者が年少者に教えたり、守ったりする行動を通して責任感やリーダーシップが芽生える。



その2 子どもの発達差（月齢）による不安や劣等感の解消につながる。



その3 年少児にとって、年長児の存在は憧れやモデルになる。

園掲示板やインスタで紹介したように、これらの取組の成果は、当日の大盛況や出店を仕切る年長児、買い物を楽しみ手作り

景品に喜ぶ年少児の姿に表れています。

異動のお知らせ

新しい事務職員の紹介。

武 理恵さんです。内田雅子さんの退職（8/30）に伴い、系列園「太陽の子どもたち」からの異動です。

武さんは、令和3年の11月から令和4年3月まで本園に勤めていたの



子どもさんや保護者の方々のために、一生懸命、頑張ります！

でご存じの方も多いと思います。前任者同様、よろしくお願いいたします。

子どもたちの笑顔のために

誕生会での出し物の紹介です。下の写真をご覧ください。雨傘が閉じた傘に変わり、それを開くと漫画のキャラクターに関する傘になり、そこからアンパンマンやドラえもんなどが出てきます。子どもたちは、登場するであろう主人公を当てるのに興味津々です。



次頁の写真です。真水のペットボトルを振ると、表示してあるイチゴや熊、バナナ、イルカなどの色に変わります。（あら、不思議！）表れた5つの色を混ぜて、オレンジやブドウ、スイア、桃などに変化。真水が様々な色へ変わる様子に、子どもたちは

大興奮！



これらは、全て保育教諭の手作りです。毎月の誕生会や各種行事において、紹介したものの以外にもパネルシアターなどの出し物もあります。それぞれ、どのような内容だと子どもが興味関心を示し、喜んでくれるのか熟考し、準備を重ねます。その製作や練習には、かなりの時間をかけています。

子どもたちのために、こつこつと取り組んでいる本園職員の姿に、子どもと共に私（園長）も元気をもらっています。

夏祭りごっこ(7月20日)



おみこしだあー！



子ども・家族の命を守るために…！

夏休みを利用して行楽や旅行の計画を立てておられるご家庭もあると思います。

福岡で小学6年生3名が川で溺れて亡くなったのをはじめ、全国で悲しい事故が起っています。そこで、大きな事故やけがを防ぎ、楽しい思い出になるように、次のことにご留意ください。

- 1 海や川、山、遊園地、公園などに子どもだけで行かない、行かせない。
- 2 活動したり遊んだりしている時、子どもから目を離さない。